

みんなの議会

たっす

NO.135
平成21年8月5日



第32回上川中央分会消防訓練大会

7月9日、鷹栖市街地周辺において、上川中央分会消防訓練大会が開催されました。

第2回定例会 で決めたこと	2ページ
第4回臨時会・第5回臨時会・第6回臨時会・第7回臨時会	3ページ
委員会活動・全道議員研修会・議会のうごき	4ページ
一般質問	5～10ページ
「第2回議会報告会」開催のお知らせ	11ページ
わたしの一言 あしがき	12ページ



人 自然 あったかす

国民健康保険加入者の出産育児一時金 35万円を39万円に増額 (H21.10~H23.3の間)

6月定例会で決めたこと

第2回定例会は、6月17日から2日間の会期をもって開催しました。

議長の行動報告と町長の主要な動静についての行政報告を受けたあと、6名の議員が一般質問を行い、町長、教育長の考えをいただきました。

議事は、報告2件、条例改正2件、一般会計ほか2会計の補正予算を審議し、原案のとおり議決しました。

また、議員提出による意見書1件について採択し、会期を1日残して閉会しました。

報告

■平成20年度鷹栖町土地開発公社事業及び収支決算並びに平成21年度事業計画及び予算について

鷹栖町土地開発公社の平成20年度決算、平成21年度予算について報告を受けました。

■平成20年度鷹栖町一般会計繰越明許費繰越計算書について

景気対策として平成

20年度に予算措置した地域活性化・生活対策臨時交付金事業等のうち、平成21年度に繰越した事業の報告を受けました。

内容は、そよかぜバ

ス購入事業他23事業で繰越総事業費は1億4,770万1千円です。

条例

■鷹栖町職員の高齢者部分休業に関する条例及び鷹栖町職員の修学

部分休業に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき、高齢職員及び修学職員の勤務時間を週40時間から週38時間45分に変更したことに伴い関係条文を改正しました。

■鷹栖町国民健康保険条例の一部改正

平成21年10月から平成23年3月までの間に限り、出産育児一時金35万円を39万円とする改正をしました。

補正予算

■一般会計

歳入歳出予算にそれぞれ1,362万2千円増額し、予算総額を44億1,010万5千円としました。

(補正の内訳)

- ・議会費 10万円
- ・総務費 363万円
- ・民生費 68万円

・衛生費 312万円

補正内容は、平成20年度事業費確定精算に伴う、国等への償還金及び一般会計への繰入金です。

・農林費 160万円

■「基地対策予算の増額を求める意見書」
自衛隊等基地所在市町村に交付される「国

・商工費 25万円

有提供施設等所在市町村助成交付金」を22年度予算において増額するとともに、基地交付金の対象資産を拡大すること等を要請する意見書を採択し、関係行

・土木費 425万円

政庁に提出しました。

(主な内容)

・ふるさとまちづくり
応援基金積立 240万円

・老人保健特別会計への繰出 309万円

■老人保健特別会計
歳入歳出予算にそれぞれ827万円増額し、

・北鷹栖団地2号棟解体工事 250万円

予算総額を977万5千円としました。

・歳入歳出予算にそれぞれ803万3千円増額し、

歳入歳出予算にそれぞれ803万3千円増額し、

・歳入歳出予算にそれぞれ803万3千円増額し、

歳入歳出予算にそれぞれ803万3千円増額し、

・歳入歳出予算にそれぞれ803万3千円増額し、

歳入歳出予算にそれぞれ803万3千円増額し、

・歳入歳出予算にそれぞれ803万3千円増額し、

歳入歳出予算にそれぞれ803万3千円増額し、

・歳入歳出予算にそれぞれ803万3千円増額し、

歳入歳出予算にそれぞれ803万3千円増額し、

・歳入歳出予算にそれぞれ803万3千円増額し、

歳入歳出予算にそれぞれ803万3千円増額し、



第4回
臨時会
4月21日

■一般会計補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ857万3千円増額し、予算総額を43億9,457万3千円としました。

(補正の内容)

- ・緊急雇用創出事業 423万円
- ・北野保育園耐震調査委託 435万円

■鷹栖町特別功労者の選考同意

永年、鷹栖町の進展に尽力された方々の特別功労者の選考に同意しました。

・消防団員として

- 小澤 哲弘さん 18線11号
- 橋本 孝一さん 20線15号
- 稲村 誠さん 18線15号

■専決処分の承認

平成20年度一般会計予算において、国等から交付される地方特別交付金等の額の確定に

伴う補正予算の専決処分を承認しました。

第5回
臨時会
5月12日

■請負契約の議決

高額請負契約の議決をしました。

・契約の目的 鷹栖保育園改修工事(本体)

- ・契約の方法 指名競争入札
- ・契約の金額 7,738万5千円
- ・契約の相手側 新谷・日建旭実特定建設工事共同企業体

第6回
臨時会
5月27日

■条例改正

・鷹栖町税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、税条例を改正しました。

①町民税

・公的年金等に係る特別徴収方法の一部変更
・住宅借入等特別税額

控除の創設
・配当所得、譲渡所得等の軽減措置

②固定資産税

・看護師等の養成所に係る非課税措置
・負担調整措置の適用期限の延長
・長期優良住宅の減額申告規定の新設

・鷹栖町都市計画条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、都市計画税の負担調整措置の適用期限を延長する改正をしました。

・鷹栖町国民健康税条例の一部改正

国保税率中、医療給付分及び後期高齢者支援金分は総体として据置き、介護納付金分は総体として引き下げる税率の改正をしました。

また、介護納付金分の課税限度額を1万円引き上げ10万円としました。

・一般職の職員の給与に関する法律等の一部改正に伴う関係条例の

整理に関する条例

人事院勧告に基づき、6月に支給する議会議員及び町長・副町長・教育長の期末手当並びに職員のみ末・勤勉手当をそれぞれ2.15カ月分を1.95カ月分とし、0.2カ月分を凍結しました。

■一般会計補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ191万円増額し、予算総額を43億9,648万3千円としました。

(補正の内容)

- ・丸山パークゴルフ場 法崩れ補修工事 155万円
- ・機械器具借上料 36万円

■国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ1,310万円増額し、予算総額を8億7,630万円としました。

主な補正内容は、平成20年度事業費確定精算に伴う国への償還金です。

第7回
臨時会
7月8日

■条例改正

・鷹栖町有住宅条例の一部改正

鷹栖中学校教員住宅の建替えに伴う住宅使用料の改正をしました。

■一般会計補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ2億565万4千円増額し、予算総額を46億1,575万9千円としました。

(補正の内容)

・国が景気対策として実施した地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業等に関するもので、町道舗装事業他18事業の補正をしました。

■水道事業会計補正予算

収益的支出で250万円、資本的支出で1,750万円計2,000万円を増額しました。

(補正の内容)

地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業による水道老朽管布設替工事です。

委員会活動

議会運営委員会

- 5月12日 議会改革の取り組みについて審議しました。
- 6月11日 第2回定例会で提案される案件や意見書の取扱いなどについて協議し、会期を2日間と決めました。また、21年度議会報告会実施内容について協議しました。

総務文教常任委員会

- 4月26日 第4回臨時会で提案される議案について説明を受け、内容を審議しました。
- 5月21日 第5回臨時会で提案される議案について説明を受け、内容を審議しました。
- 6月9日 第2回定例会で提案される議案について説明を受け、内容を審議しました。
- 7月3日 所管事務調査として鷹栖小学校体育館、公営住宅等12箇所の現地視察を行うとともに、第7回臨時会で提案される議案について説明を受け、内容を審議しました。

経済福祉常任委員会

- 4月20日 第4回臨時会で提案される議案について説明を受け、内容を審議しました。
- 5月21日 第5回臨時会で提案される議案について説明を受け、内容を審議しました。
- 6月8日 第2回定例会で提案される議案について説明を受け、内容を審議しました。
- 7月2日 所管事務調査として水稻生育状況、廃棄物処理施設等8箇所の現地視察を行うとともに、第7回臨時会で提案される議案について説明を受け、内容を審議しました。



7月2日・経済福祉常任委員会視察
(アスパラ立茎栽培状況)



7月3日・総務文教常任委員会視察
(鷹栖小学校体育館)

全道議員研修会

平成21年度北海道町村議会議員研修会が6月30日札幌市で開催され、全議員が参加しました。

はじめに、山梨学院大学教授の江藤俊昭氏から「住民自治時代の議会の役割と課題」と題し、議会改革の必要性などについて、続いて読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏からは「どうなる日本の政治と経済」と題し、現在の政治情勢について講演をいただきました。



講師の橋本五郎氏

議会のうごき

- 4月1日 鷹栖町役場職員辞令交付式
- 10日 鷹栖町老人大学・大学院入学許可証授与式
議員協議会
- 16日 「新たな森林環境政策」(素案)に関する意見交換会(旭川市)
- 19日 経済福祉常任委員会・総務文教常任委員会
第4回鷹栖町議会臨時会
- 20日 鷹栖高等学校の存続を求める要望活動(札幌市)
- 21日 鷹栖町議会臨時会
- 24日 地域安心拠点「ぬくもりの家えん」開所式
- 26日 財務行政懇話会(旭川財務事務所主催)
- 27日 3・4日 元鷹栖町議会議員
故山本忠五郎様通夜及び葬儀
- 8日 鷹栖町商工会平成21年度第49回通常総会
- 11日 公立高等学校配置計画地域別検討会議(旭川市)
- 12日 第5回鷹栖町議会臨時会・議会運営委員会
- 14日 支庁制度改等に関する地域説明会(旭川市)
- 21日 経済福祉常任委員会・総務文教常任委員会
- 26日 上川中央都市・町議会議長会定例会議(当麻町)
- 27日 第6回鷹栖町議会臨時会
- 30日 陸上自衛隊第二師団音楽まつり(旭川市)
- 8日 北海道町村議会議長会定期総会(札幌市)
- 8日 経済福祉常任委員会・上川地方総合開発期成会定期総会(旭川市)
- 9日 総務文教常任委員会
- 10日 平成21年度「鷹の翼」総会
- 11日 議会運営委員会
- 14日 陸上自衛隊第二師団創立59周年旭川駐屯地開設57周年 前夜祭及び記念行事(旭川市)
- 17日 第2回鷹栖町議会定例会・議員協議会
- 18日 ふれあいグリーンキャンペーン
- 25日 旭川トヨペット桜苗木寄贈式
- 26日 道州制特区に係る地域意見交換会(旭川市)
- 28日 北海道鷹栖高等学校の存続を求める会総会
- 30日 健康をさがそうたかすジョギングフェスティバル
全道町村議会議員研修会(札幌市)



近藤 義紀 議員

問 町道橋の管理について

答 長寿命化を図る

質問

町道橋172橋、農道橋2橋、林道橋2橋、合計176橋の管理について町長に伺います。

国の事業で「※¹長寿命化修繕計画策定事業」が平成19年の4月に実施されていますが、本町ではすでに平成18年度から先行して橋梁の目視調査に取り組んでいて、平成22年度では終わると聞いています。目視による健全度調査が終了した後、市

町村においては7年間の間で長寿命化修繕計画を策定しなければなりません。どのようない方法でその修繕計画をしていくか、町長に伺います。

答弁 町長

本町の管理する橋梁数は、全部で176橋あり、その6割近くが30年以上経過しています。近年、国の方針は、いろいろな事故・故障等が起きてから、修繕や架け替え等を行う対

症療法型の管理から予防保全を導入することによって、橋梁の長寿命化の方針へと変わってきています。

本町では平成18年から橋梁の点検調査を開始しました。本年度までに長さ10m以上の主要な橋梁の一次点検が終了して、残りの橋梁についても、23年度までには点検を実施したいと考えています。この点検結果に基づき、「長寿命化修繕計画策定事業」による「※²橋梁長寿命化計画」を、本年度策定します。

この計画による内容は、構造上の緊急性を要する補修や、主要橋梁などの修繕を優先的に進めることによって、橋梁の長寿命化を図っていきたいと考えています。

今後は、日常点検や

定期点検を行い、橋梁の長寿命化を図って、生活基盤の安心・安全の確保に努めたいと思っています。



メロディー橋

- ※1 長寿命化修繕計画策定事業…平成19年に国土交通省が地方公共団体の橋梁管理について、予防的修繕による長寿命化及び計画的な更新への円滑な政策転換を図るため「長寿命化修繕計画策定事業」を創設した。
- ※2 橋梁長寿命化計画…長寿命化修繕計画策定事業により、市町村は7年間（平成19～25年度）の時限措置の期間内に長寿命化策定計画を策定しなければ、橋梁の修繕・更新の補助を受けることができない。



植西 辰義 議員

問 観光資源の整備を

町長 利用者の声を考慮

答 整備をしてPR

質問

本町は観光資源に乏しく、観光ポイントと呼べる箇所は少ないように思います。全町民の方々に利用していただける施設や町外の方々においでくださいと推薦できる施設を整備すべきと思います。観光資源として思い浮かぶものは、数箇所ありますが、その中で丸山パークゴルフ場のみ、入込客数が増加しています。

ゴルフ場に子ども連れで来ても、満足できる施設が整っていません。そこで、丸山パークゴルフ場に簡単な遊具施設や芝生のエリアを設置して、子どもたちが、はだして遊べる場を整備する。また、句碑の森やパレットヒルズの散策路を整備して、ベンチを置いて四季折々の風景や、ゆったりした時間を楽しんでもいただくことも必要とされます。

憩いの場として、観光資源の整備推進について町長と教育長に考えを伺います。

答弁 町長

確かに観光資源は乏しいですが、必ずしも立派な施設ばかりが観光ではないと思います。鷹栖の一番の特徴である自然や緑には癒しの効果があり、緑を素材として、町民の方や団体による協働作業によって作られたものもあります。

答弁 教育長

散策路の整備については、現状の利用の仕方から、観光協会やそれらの維持管理を行っている皆さんと話し合って、町民や利用者の声に耳を傾けて、情報を提供しながら整備を進めていきたいと考えています。

丸山パークゴルフ場については、指定管理者の運営努力や地産野菜の販売、飲食提供等の施設も充実をしてきたことで利用客が増えていると感じています。

今の状況の中では、子どもを自由に遊ばせるには、危険な要素もあり、調査研究をしなければならぬと考えています。

丸山句碑の森では現在、「丸山句碑の森実行委員会」が中心となって、春先に大掛かりな

散策路の草刈を行うほか、冬には玄穹庵（げんきゅうあん）の雪下ろし等の整備を行っています。

散策路にベンチを置くことは、所有者の方との協議や管理の問題もありますが、森林浴等の癒しの効果があると思いますので検討したいと考えています。

それぞれがよいものを出すことができれば観光資源につながると思いますので、管理している団体と相談しながら、いろいろな形でPRも検討したいと考えています。



句碑の森 玄穹庵



新田 健一 議員

問 パレットヒルズについて
維持管理について

答 当初の整備構想を引き継ぐ

質問

パレットヒルズは今まで「パレットヒルズを育てる会」を中心に、町民の手作りによる整備を行ってきました。一方、平成19年から2年間かけてパークゴルフ場の整備を行い、本年度オープンの予定でしたが、開始に至っていない状況です。広報たかさ6月号で、現地視察や意見交換会の案内が掲載されています。町民の意見を聞くことは大切と思いま

すが、町長自身の考えを説明して理解していただくことが、町長の責任だと思います。

町民の中にも、パレットヒルズを知らない人がたくさんいますので、案内看板の設置や町のイベントを行なうなど、町内外の人たちにPRしていくことが必要です。また、家族連れが楽しめるように、小規模なアスレチック等の子ども向け遊具を設置したり、道路とトイレについては早急に整備を

して、多くの町民の方々に訪ねてもらえるようにしてはいかがでしょうか。

整備をすることにより、子どもから高齢者まで楽しめる公園となり、将来の鷹栖町に大きな宝物を残せると思います。町長はどのように考えているか伺います。

答 町長

パレットヒルズの今後の整備については、町民の皆さんと話し合った後に、議会とも相談しながら、方針を定めたいと考えています。

7月1日開催予定の「パレットヒルズを考える町民の集い」では、私の考え方を示す必要があると思います。パレットヒルズ全体の整備については、多くの方から樹木の提供

や作業協力をいただき、今日まで歩んできましたので「次の世代に残す住民参加の手づくりによる町民の杜づくり」を基本とした当初の整備構想を引き継ぎ、町民の皆さんの納得のいく形で息の長い取り組みを続けていきたいと思っています。

また、パークゴルフ場ですが、町の財政状況を考えると、多額の投資は難しいと思います。例えば年限を区切り、自主管理を希望される方や団体に、施設を貸与する方法などを説明して希望を取りたいと考えています。

今後の全体的な整備・管理ですが、道路、看板、休憩施設、トイレ等、公園として必要なものは、パークゴルフ場にかかわりなく、整備しなければならぬと思います。

放課後児童クラブの子どもたちは、遊具がなくても楽しそうに遊んでいるようですし、一番大事なことは、一人でも多くの人に親してもらおうことだと思います。

広報たかさや町のホームページなどで情報発信を行い、多くの人に足を運んでいただいて、その価値観を共有し、杜づくりの考え方を基本として、進んでいきたいと考えています。



パレットヒルズ



百武 和重 議員

問 感染症の危機管理

町長 行動計画を策定

答 マニュアルで対応

質問

道では「北海道新型インフルエンザ対策行動計画」を本年5月に改訂し、その中に各行政機関への「業務継続計画」の策定を義務付けとあります。

そこで、本町において、「業務継続計画」の策定はどのようになっているか、また、新型インフルエンザに対する予防や発生時の対応マニュアルの作成はどのようになっているの

か伺います。

今回、新型インフルエンザが発生し、国内にマスクが無くなり、必要な時に物が無い状況が起きました。町民にマスク等の備蓄呼びかけと、町によるマスクの備蓄をするべきと思いますが町長の考えを伺います。

さらに、同様の感染被害の中に、食中毒の157やノロウイルス、サルモネラ等がありますが、これらも新型インフルエンザ同様、大

きな感染被害を子どもたちにもたらしめます。町内には、給食センターなどの食事を作る施設がいくつありますが、感染予防・発生時の対応マニュアル・総合的な危機管理の考え方について教育長に伺います。

答弁 町長

「新型インフルエンザ」の発生は重要な問題であると認識しています。

町では、鳥インフルエンザを想定した「鷹栖町新型インフルエンザ対策行動計画」を策定し、この中に「事業継続計画」を盛り込んで町民の皆さんに対して迅速な対応ができる体制を整えました。

新型インフルエンザに対する予防については、広報配布時に、チ

ラシで情報提供を行っています。

町民に対するマスク備蓄の呼びかけに関しては、状況に応じて情報提供したいと考えています。

町によるマスク等の備蓄は、町内で発生した場合、初期対応をしなければならぬのでマスクの他に化学防護服やゴーグル等、今後備蓄したいと考えています。まん延期に庁舎窓口に来た方へのマスク配布は、今後の状況に応じて、検討したいと考えています。

答弁 教育長

多くの子どもたちの食を担っている場が学校給食ですので、安全・安心を第一と考えています。

食中毒が発生した場合は、緊急連絡体制をはじめ、保健教育、衛

生指導の徹底を図り、患者の早期発見、集団発生の際の措置について、衛生管理マニュアルにより対応することとしています。

また、食中毒だけでなく、危機管理の具体的な方策として、学校安全計画マニュアルを作成し、対応しているところです。

食中毒の防止については、「食中毒細菌を付けない、増やさない、殺す」という3原則で最大限の努力を続けていきたいと考えています。





藤澤 孝夫 議員

問 1

給食センターの改善を

町長

財政的な問題を含め決断

答

教育長

基本的考えを検討

質問

給食センターは昭和63年に建設され、21年

目になります。現在は、食器保管庫などの合間をぬって調理をしているように見受けられ、作業環境や衛生面などから、早急に施設全体の改善が必要だと思えます。

さらに、小中学校の生徒数が今後増えますので、給食センター施設の改築や建替えにつ

いての考えを伺います。

答 町長

安心して食べてもらうための環境設備は必要であると考えています。具体的な問題は教育委員会内部で研究・検討しており、それを受けて、財政的な問題も含め、町としての決断をしていきたいと思

答 教育長

給食センターは、約900食作れる能力を持っていますので、児童・生徒数の増加には十分対応していけると考えています。衛生管理、作業効率等は改善も必要となってきました。

設備面では消毒保管庫の購入が必要になりますが、他は既存の施設の中でやりくりをしていけると考えています。ただ、21年経過していますので、今後、施設をどうすべきなのか、基本的な考え方を検討していきたいと思

問 2

地元産の食材を給食に

答

地元産の食材を多く取り入れたい

質問

学校給食に、地元産野菜の[※]クリーン農産物使用や、鷹栖のお米を全量使った温かいごはんを、給食に出すことはできないのか伺い

ます。

答 教育長

野菜食材については、クリーン農産物だけではなく、農業経営者同友会等から提供してい

ただ、鷹栖産の食材を多く取入れていきたいと考えています。

鷹栖産の米使用については、自校炊飯方法・委託方法・給食センターでの炊飯方法など考えられますが、調査研究をして鷹栖の米を子どもたちに食べてもらえる方法を見出して行かなければならないと考えています。



給食センター 調理風景



坂根 玲子 議員

問 1
特産品の研究開発と
積極的なPRを

答
アイデアをいただき
進めたい

質問
非農家の方から、秋になると、畑に落ちて
いる作物、捨てられて
いる作物がもったいな
いと聞きます。規格外
で流通できなかった野
菜を商品開発し、製品
化することで、地元農
業を元気づけることが
できるのと思います。

大切に思います。「オ
オカミの桃」に次ぐ特
産品の研究開発を考え
ていくべきだと思います
が、町長の考えを伺
います。

PRの方法について、
農業振興公社に特産品
コーナーを設置したり、
町外のイベントに積極
的に参加すべきと思
います。

さらに、さまざまな
販路を考え町内外に情
報発信をするために、
専門職員を配置しては
いかがでしょうか。

答弁 町長

特産品の開発につい
ては、四季の里を利用
しているグループの皆
さんと一緒に、アイ
デアや意見をいただ
きながら協力し進めて
いきたいと考えて、専
門職を配置しました。

農業振興公社に特産
品コーナーを設置し、
農産物や特産品を置く
ことには課題がありま
す。商工会や㈱バイオ
アグリたかす内にある
「ふるさと産品販売所」
では「オオカミの桃」
や他の特産品も扱って
おり、ここを紹介して
もらうことにより、相
乗効果上がることを
期待しています。

販路開拓の専門職員
の設置については難し
いと思いますが、現在
農政課で、いろいろな
団体と協力しながら進
めていますので、ご理
解をいただきたいと思います。

問 2
四季の里の
有効な利用について

答
安全管理が重要

質問

四季の里の利用促進
のチラシが入っていま
した。今後、利用者が
増えると思いますし、
これからトマトジュー
ス作りの最盛期になり
ますが、使用していな
い加工室や休館日の考
え方を伺います。

答弁 町長

これまでトマトジュー
スの最盛期は、第2・
第3加工室は、管理人
の対応ができないこと
からお断りする場面も
ありました。今年度は
担当職員も配置したの

で、違う対応もでき
ると思いますが、事故な
どを防ぐという安全管
理の必要もありますの
で、慎重に進めたいと
思います。

また、休館日は、機
械の保守点検のために
必要であることをご理
解ください。



四季の里 豆腐づくり

第2回 議会報告会

鷹栖町議会では、議会改革・議会活性化の一環として町民に開かれた議会を目指し、昨年に引き続き議会報告会を開催いたします。

この報告会では、議員が地域の皆さんと直接お話をしながら、議会の活動状況について報告・説明し、町政に関する情報の提供を行うとともに、議会活動に対する意見や批判、町政に対する提言などをお聞きしたいと考えております。

昨年度は町内3箇所で開催し、88名の出席者の方々から多数の貴重なご意見をいただきました。また、アンケートでは8割以上の方から「今後も開催すべき」との回答をいただき、今年度も開催することとなりました。

開催日程は8月末で、行事等も多くお忙しいことと思いますが、多数の方のご参加をお待ちしています。

夜では都合が悪くて出席できないという方、
日中の時間を設定しました！

議会報告会開催日程表

日にち	会場	時間
8月23日(日)	北野地区住民センター	10:00~12:00
8月24日(月)	中央地区住民センター	18:30~20:30
8月25日(火)	北斗地区住民センター	18:30~20:30
8月26日(水)	鷹栖地区住民センター	18:30~20:30
8月27日(木)	北成地区住民センター	18:30~20:30

報告会は、各地区住民センターで開催しますが、どの会場にでも参加できますので、都合のよい会場にお越しください。

各団体・グループ単位での開催も可能です。ご希望がございましたら、下記までご連絡ください。

《 鷹栖町議会事務局 電話87-2111 内線301・304 》



**この町が
大好きです**
永山 喜一
(鷹栖南町内会)

私は、この地に4年前に移り住みました。誰も知人がいない中で店を構え、不安はありましたが地域の人たちに支えられて今日まで仕事に励むことが出来ました。

鷹栖に来て最初に出会ったご夫婦には、日頃からお世話になり、本当に感謝しています。そこから輪が広がり、鷹栖の温かさや人柄に助けられて、少しずつ皆さんと仲良くなる事が出来ました。

近所付き合いが少なくなってきている時代ですが、ここでの生活は気軽に挨拶を交わしたり、自宅の店舗に通学途中の子供たちが顔を出してくれることをとても嬉しく思っています。さすが「あったかす」だなあと驚きました。この場所で、畳の仕事を営める事を誇りに思います。

現代では、住宅に畳が無いといった現実もある中で、畳のよさを伝えていきたいと思っています。畳とは部屋の空気の浄化・湿度の調整断熱効果・癒し効果などがあります。

畳の上に敷物を敷いたりするのは、とても残念に思います。今の畳は様々なデザインや多くのカラーがあり、昔とは違った和室空間を演出することが出来ます。日本にしかない文化「日本人は畳でしょ」を大事に守っていきたいと考えています。

心のあたたかい人が多いこの町で仕事出来る事を、心から良かったなあと感じています。私は鷹栖町での暮らしが大好きです。

● わたしの一言

日頃思っていること ●



家族に支えられ
大村 加代子
(北栄町内会)

昭和50年、私は主人と結婚し、鷹栖の北斗で新生活を送る事になりました。1年たって、ご近所付き合いにも馴れた頃、長女を出産。それを期に、両親と弟の住む北成へ帰って来ました。その頃は、水田も少なく両親も若かったので、主人は農繁期が過ぎると外へ働きに行き、水田は両親が管理してくれました。弟も5月の連休になると必ず、田起こしを手伝ってくれました。田植えが始まると他の弟や妹達も、家族を連れて手伝いに来てくれました。私も下の子が保育園に行く様になってから、外の仕事を手伝う様になりましたが、それまでは、家の中の事と子供の世話に専念させてもらいました。でも仕事は見るとやるとでは大違い。不器用で手の遅い私は、どんな仕事にしても、皆に付いて行けない自分が情けなくなりました。そんな時義父母は、自分達が農家を始めた頃の自分の失敗談や苦労話を、度々話してくれました。私には経験した事のない生きて行く事の厳しさや、努力し助け合う事の大切さを教えてもらった様な気がします。何とか子育ても終え、私が今日までこれたのは家族の支えがあったの事。感謝しています。



夏本番をむかえているはずですが、エルニーニョ現象によるものなのか、天候不順で農作物の生育が心配され、影響が少ない事を願うだけです。

「みんなの議会」135号をお届けいたします。

今定例会では、6名の議員による一般質問、報告2件、条例改正2件、一般会計ほか2特別会計の審議をして議決しました。

また、4月からの臨時会での審議内容を掲載しました。第7回臨時会では、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業が提案され議決しました。

地方においては必要と思いつながりも取り組めなかつた事業が出来ることは良い事だと思えますが、将来の国の財政を考えたとき不安を感じます。

最後に「わたしの一言」にご寄稿くださいました、永山 喜一 さん
大村 加代子 さん
ありがとうございました。

編集委員一同